

桐生西ロータークラブ週報

2012-13年度 RIテーマ

田中作次 2012-13年度 国際ローター会長 **Peace through Service**



例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 東郷康史 広報活動委員長 奥村 勉 広報活動委員 片貝良一・岡田善孝・櫻井和彦
 幹事 坪井良行 クラブ会報 雑担当 鳥嶋隆一 根本正則

No. 1867

2012年9月28日発行

第1984例会 (2012・9・21) 報告

- | | |
|------------|---------------------------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 委員会報告 |
| 2. ローターソング | 8. 卓 話 桐生新町まちなみ委員会
委員長 森 壽作様 |
| 3. 来訪者紹介 | 9. SAAプレゼント抽選 |
| 4. 会長報告 | 10. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 11. ローターソング |
| 6. 食 事 | |

◆ピジター

桐生新町まちなみ委員会 委員長 森 壽作様

◆会長報告

東郷会長

- 来週は、森下正教ガバナー補佐公式訪問です。通常例会と変わらず、卓話の時間に、森下ガバナー補佐より講話を戴くことになっております。また、例会後、クラブ協議会はありません。欠席のないよう、宜しくお願い致します。
- 明日、明後日と、ライラ研修が、国立赤城青少年交流の家で開催されます。当クラブから、霜村ローターアクト担当委員が、研修生として、桐生西ローターアクトクラブから4名(小川会長、杉澤幹事、王蒙懿さん、レイサさん)が、参加されます。
- 来週の木曜日、チハヤチャリティゴルフコンペが太田双葉カントリークラブで開催されます。当クラブの齋藤憲一会員が実行委員長を務められています。当クラブから、中野会員・花房会員・下井田会員・塚本会員の4名が参加されます。

◆幹事報告

坪井幹事

- ◇10月のローターレートは現行通り1ドル80円です。
- ◇昨今の国際情勢の悪化に伴い、中国米山学友会総会(10/27上海開催予定)が延期になりました。
- ◇下記のものが届いております。

・米山記念奨学会より

ローター米山記念奨学事業『豆辞典』(全会員数)
 クラブ米山記念奨学委員長の手引き
 米山寄附金マニュアル
 2011年度事業報告書
 事業報告書統計・資料編
 2011年度決算報告
 追加資料申込書

- ・群馬県緑化推進委員会より緑の募金協力をお願い
- ・つつじヶ丘チャリティ歌謡ショーのお礼状

◇例会変更のお知らせ

桐生中央RC 10/11、10/18、11/8、11/15、11/22、11/29

◇クラブ会報が到着しています

桐生中央RC 8/23、8/31、9/6 桐生赤城RC 9/11

◆食事メニュー

1277キロカロリー

海老グラタン、オムハンバーグ、茸のサラダ、白飯、鶏団子と野菜のスープ、香の物

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

石川出席担当

総数47名(免除者8名の内4名出席の為4名を除く)
 出席率対象者43名、出席率対象者出席人数34名
 欠席者9名(内前メイク2名) 出席率83.72%
 前々例会修正出席率90.48% (最終欠席者4名)

□拠金委員会

◇ニコニコBOX

東郷(学)ニコニコBOX担当

森 壽作様、卓話ありがとうございます
 鳥嶋君、坪井君、近藤君、前原君、新木君、
 中野君、高森君、栗原君、塚本君、江原君
 先週誕生祝いをいただいて 花房君

◇ローター財団

塚本R財団担当

森 壽作様、卓話楽しみにしています
 中野君、坪井君、塚本君、新木君

◇米山BOX

天沼米山奨学担当

森 壽作様、卓話を宜しくお願い致します
 前原君、坪井君、塚本君、新木君

(株) ホ シ ケ ン

代表取締役 星野幸男

太田市清原町5-10 太田流通団地

TEL 0276-37-8300

《次例会予告》

10月5日(金) ライラ研修報告

10月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い

卓 話



桐生新町まちなみ委員会
委員長

森 壽作様

「重伝建選定にあたり」

本日は、重伝建（重要伝統的建造物群保存地区）に、本町1、2丁目、そして天満宮が、今年の7月9日に、正式に選定されましたので、そこへ至るまでのお話をいたします。

皆さんに資料として『私のまちづくりメモ』を配布してあります。

始まりましたのは平成2年7月からですので、もう22年掛かっています。最初の頃は、役所に頼めば、後は役所がやってくれるという考えでございました。それから5年後の平成7年12月に、このままの状態で行くと、どんどん古い建物が無くなってしまおうということで、要望書を市長宛に提出しました。

要望書を提出する迄の間、文化庁から調査が入ったり、文化財保護課の熱心な取り組みがあったものから、直ぐに重伝建になるのではないかという思いでございました。ところが、提出した後、桐生のまちは都市計画で成り立っている地域なので、文化財保護課ではなく、都市計画課が担当だということになりました。すると今度は、都市計画はもっと広い視野からということになり、まちづくりをどうやっていくかを、いろいろ模索することになりました。そんな訳で、なかなか話が進まなくなり、この状態が、平成12～13年頃まで続きました。

そんな状況下、市が県から予算を取り、平成13年4月から「まちうち再生総合支援事業」を行いました。具体的には、買場通りの改修工事やワークショップ、アンケート調査、寄合所の開設などを行いました。

それでもなかなか進展がみられないということで、平成17年頃、真剣な論議が始まりました。

ようやく、平成19年になって、重伝建選定によるまちづくりをする、という結論に達しました。それで、地元の住民に呼び掛けて、8割くらいの同意書を取り付けて、桐生市に提出し、かなり良い方向に進んでおりました。

ただ、重伝建になりますと、建物や地割りに対して法的な制限が生じます。本町1～2丁目の場合、間口は6～7間が基本ですが、奥行きが40間とかなり奥行きがあります。古い建物を残すので、新しい建物を建てることは無い筈ですが、建築基準法に絡んで奥の方に家を建てるのが難しくなり、中の方が空洞化してしまうなどの心配事が出て来ました。重伝建は良いとは思いつつ、最後の最後まで結論が出ませんでした。

そんな矢先の3月11日に、東日本大震災が起り、自分の蔵が崩れるのを目の当たりにしました。その時、何で早く重伝建にしておかなかったのかという思いが募りました。

幸いなことに、



震災後であっても、重伝建に選定されれば、補助制度を受けられる事が分かりました。地域住民も役所も、専門家が入った審議会も、全てが、一日も早く重伝建を実現しようという動きになりました。

それで晴れて本年7月9日に選定告示になりました。不謹慎ではありますが、大震災によって桐生の重伝建が実現したように思います。

顧みますと、20年近く要したこの活動を支えたのは、買場紗綾市だと思います。当初、一部の人だけが重伝建と騒いでいるだけで、商売している人などにとっては話にもならないなどの声は聞こえてきました。それで重伝建を目指すことを目的として、平成8年3月から月に1度の買場紗綾市をスタートいたしました。幸い今日まで続いております。

その翌年の平成9年に、買場紗綾市音頭を一般公募でつくりました。踊りもあります。実は、歌詞は私が作りました。名前を伏せて応募したのですが、選ばれてしまいました。この唄を歌い、踊ってきつづけたことが、重伝建への影響力であった様に自負しています。

この買場紗綾市音頭を、9月29日の北小学校の運動会で踊ることになりました。その経緯は、北小の中にもともと郷土の資料室があったのですが、殆ど活用されておらず、7月9日の重伝建選定を受けたこともあり、子供達が郷土を知り、ゆくゆくはまちの案内が出来る様になればという考えに基づいてのことです。子供達が自分達の唄と踊りを覚えて、それが将来のまちづくりに繋がればと考えますと、感慨無量です。

伝統的なものを大切にしていきたいという社会情勢もあったと思いますが、重伝建の実現が果たせた事は嬉しい限りです。

しかし、ただ喜んでばかりはいられません。実際に建物を維持保存して行くことは大変な事です。

何故、桐生新町まちなみ委員会が出来たのかと申しますと、重伝建になって、色々な建物を、どういう風な建物にして行くかと判断していく要素が沢山あるからです。特に本町1、2丁目の建物は、文化庁も多種多様な建物と表現しています。色々な時代の色々な建物で色々な物が出来てきたので、新しい物も其処に入っても良いのではないかという見方もあって、判断が非常に難しいのです。勿論、まちなみ委員会だけでなく、行政もその様な組織を作って対応していきます。

何れにしても、桐生市全体で一緒になって、桐生全体を元気にしていきたいと思っております。

今後とも、宜しくお願い申し上げます。

SAAから本日のプレゼント

天沼一夫君へ



桂 建設 (株)

代表取締役 家 住 慧 路

みどり市笠懸町阿左美763-2

TEL 0277-76-7723